

「いたばし区議会だより」(第170号)(平成26年11月23日発行)「“検討”」と答弁された質問とその答弁内容

	「“検討”」と答弁された質問	その答弁内容	質問した議員(敬称略)	ページ
1	マンションの管理状況を把握するために、罰則規定を設けた条例の制定を。	【答】先行自治体での効果、課題などを参考に検討していく。	山田たかゆき	3
2	条例の中に町会加入を促す条項の設定を。	【答】豊島区の条例を参考に検討していく。		
3	各地域の声を踏まえて今後の対策は。	【答】既存の格納庫の実態調査を行い、その結果を基にさらなる充実に向けて検討する。	田中しゅんすけ	
4	成人期発達障がい者に対する相談支援体制が整っていない。センターの早期設置を。	【答】27年度予算編成作業において、協議・検討している。		
5	生活保護世帯の生徒に対し、継続的な学習支援を実施している高知県高知市の高知チャレンジ塾を参考に、区も積極的な事業展開を。	【答】効果的な業務を実施できるよう検討を行っている。	杉田ひろし	
6	女性を一生涯守るため、予防接種などの記録や病気の予防などの情報を提供する女性の健康パスポートの実施を。	【答】研究・検討する点はあるが、健康パスポートの趣旨をいかした事業展開を図りたい。	かいべとも子	
7	西台駅北側の集合住宅へのアクセスやエレベーター設置など、都と前向きな議論を。	【答】あらゆる可能性を検討し、今後も都と調整する。		
8	人工地盤上の集合住宅で住み続けられるよう地域包括支援システムのような方策を。	【答】高島平地域のグランドデザインの中で社会福祉の向上をめざすウェルフェアの考えを打ち出している。今後ウェルフェアの推進を検討する。		
9	空き家の実態調査の監視はどうするのか。監視を兼ねた管理委託をシルバー人材センターなどにできないか。	【答】緊急度が高い物件は、職員が年1回程度パトロールを実施。管理委託については、他自治体の動向を見て検討。		
10	空き家増加一因として更地にすると固定資産税の軽減措置が受けられなくなることが挙げられる。固定資産税減免分を区が一定期間助成するなどの施策はできないか。	【答】助成した分は区の支出になるため、慎重に検討する。	いしだ圭一郎	
11	町会、商店街が設置している防犯カメラの維持管理経費を区で助成できないか。	【答】新規設置の要望が増えているため、当面は新規設置を優先する。維持管理費は設置地域が広がった段階で検討。		
12	マンションやコンビニなど、民間の防犯カメラの所在を把握し、情報提供してもらえるようなシステムづくりを。	【答】犯罪発生時は警察が情報提供を受けることになるため、民間との協力関係については、警察の考えも聞きながら検討していく。	田中いさお	
13	基金全額投入で介護保険料を値上げしない努力を。	【答】介護保険料は給付費に比例する制度であり、給付増加や保険料負担割合の上昇から、第6期の介護保険料基準額も上昇と推測。大幅な保険料上昇には介護給付費準備基金の活用で一定の抑制を検討。	熊倉ふみ子	
14	区として断熱性の高いペアガラス導入に助成を。	【答】支援制度などを検討する。	五十嵐やす子	
15	高齢者と子育て世代の交流の場として、空き施設の提供や人・ノウハウの支援を。	【答】住民主体の通いの場の活用は有効であり、支援を行う。いこいの家の活用も検討中。	井上温子	
16	手話通訳者を本庁1階と板橋福祉事務所に常時配置せよ。	【区長】新庁舎の総合相談窓口開設に合わせ、手話相談員の増員などを検討する。		

17	⑤ランドデザイン策定にあたっての基本情報として、高島平地域の街区単位の年齢別人口を公表せよ。	【区長】⑤一般的な傾向を把握するには丁目単位のデータで差し支えないと考えるが、重要課題の検討の際は必要に応じて団地に関する情報を把握するよう努めている。	中妻じょうた
18	⑥ランドデザインにおける都営三田線延伸の位置付けは。	【区長】⑥現在は延伸計画自体が無い状態であり、今後にぎわい創出や活力ある都市の観点から、検討を進める中で考え方を整理する。	
19	外国人も利用できるゲストハウスと周辺住民との間のトラブルを防止するため、各所管の課題を整理して情報共有を行い、ゲストハウスの運営者や利用者などに騒音やごみ出しなどのルールについて確認や指導を。	【区長】区は外国人住民も含めすべての人が安心して暮らせるまちづくりをめざして多文化共生まちづくり推進計画を策定している。28年度からの第二次計画の策定準備を進める中で課題を整理し、取組みを検討する。	佐藤としのぶ
20	③都では「区市町村発達障害者支援体制整備推進事業」を実施しており、すでに4区で当該事業を活用している。区でも当該事業の早期実施を。	【区長】③すでに実施している他区の事例を調査・検討し、早期実施に向けて努力していく。	大野はるひこ
21	現在、活動拠点の事務所は仲宿いこいの家を借りているが、活動スペースが狭く、交通の便が悪い。環境の良い活動拠点の確保を。	【区長】希望にかなう施設がないため、今後も活動の充実に向けた環境整備について検討していく。	
22	②旧保健所については、25年5月に出た公共施設等のマスタープランにおいて、耐震状況や築年数から現行施設の活用は不可としていたが、1年を経過してなぜ板橋福祉事務所としての活用が可能になったのか。	【区長】②南館改築基本構想の策定時にも、仮庁舎の候補地の一つとして耐震補強のうえ活用する案を検討しており、耐震性能が低く補強工事そのものができなかったわけではない。	川口雅敏
23	集合住宅の居住者は約69%で今後も上昇傾向。また、首都直下地震の発生予測を含む報道により、区でも地域防災計画を見直してきた。そこで、関連する要綱と条例の見直しを行い、要綱は見直し後に条例化を。	【区長】地域防災計画と整合性を図り、検討していく。事業値の現況などを考慮して柔軟に運用・活用し、事業者等の協力も得ているため、条例化は考えていない。	佐々木としたか
24	③地権者であり地元自治体でもある区は、どのように再開発事業に関与するのか。	【区長】③地権者としては事業化に向けた検討を進める。地元自治体としては必要に応じて技術的支援や助言を行う。	
25	①保育園建設のための区有地の確保を。	【区長】①区有地の活用については、公共施設等の整備に関するマスタープランに基づく個別整備計画の策定にあわせ検討を進める。	
26	①産後の女性をワンストップで切れ目なくサポートする制度へと拡充するため、子ども家庭支援センターの育児支援ヘルパーなどの事業と健康推進課の産後の育児支援事業を統合できないか。	【区長】①統合によりすべての親子が必要とするサービスをワンストップで提供できるメリットと、必要な支援を迅速に提供することが困難になるデメリットが考えられる。双方のメリットをいかし、ワンストップでサービスが受けられる仕組みづくりを検討する。	
27	②国が推進する妊娠出産包括支援事業の導入を。	【区長】②課題の整理などを踏まえ検討する。	なんば英一
28	③産前産後のセルフケア講座、産前産後歯科健康診査などを女性健康支援センターに集約し、戦略的な取組みを。	【区長】③母子保健事業の拡充については、女性健康支援センターのあり方や事業の効果を勘案しながら今後も検討する。	
29	④産後ケア施設の整備は既存施設を活用し実現を。	【区長】④関係機関と協議・検討し可能性を探る。	

30	サービス付き高齢者住宅を地域包括ケアシステムの中に位置づけ、安心・安全な高齢者住宅の整備を。	【区長】現在策定中の第6期介護保険事業計画の中でサービス付き高齢者住宅の位置付けについても検討と進める。	
31	①大規模水害の現在対策として注目されているタイムライン(防災行動計画)を国交章が自治体や行政機関と協定し作句呈すが、策定における板橋区の役割・作業体制は。	【区長】①避難情報の発信や広域避難などを検討し、関係機関と連携をしながら、策定作業に取り組む。	稲永壽廣
32	②タイムラインの試行版ができた後、シミュレーション訓練の計画はあるか。	【区長】②今後、様々な形で訓練の検討を行う。	
33	①公共施設建設における木材使用や日光産材の使用について、建築整備指針や計画などを作るべき。	【区長】①学校改築工事などについては、日光市産の木材利用に努めるため覚書を締結した。区施設全体の木材使用については、公共施設等の整備に関するマスタープランの考え方を踏まえ、日光市産を含む木材利用に関する指針について検討する。	
34	②区が特命随意契約で日光産材を購入し請負業者に支給するなど、契約方法を見直す考えは。	【区長】②特定資材の利用に係る改築工事費用などの契約方法について検討する。	
35	①現在地での改築では現在の半分しかスペースが確保できない。現在地で改築するなら地域図書館として改築し、中央機能を持たせた図書館は別途、板橋ポロニー絵本館を併設させて建築すべき。	【教育長】①現在地での改築の場合は中央機能の維持が困難なため、中央機能は他の図書館に移転することが必要。絵本館との複合化も検討する。	
36	②改築後はくつろぎ空間を与えられるような中央図書館として整備を。	【教育長】②基本構想の中で検討する。	
37	①自立相談支援センターを板橋福祉事務所などに設置を。	【区長】①板橋福祉事務所と隣接または近接した場所を検討。	佐藤康夫
38	④けやき苑をサービス付き高齢者向け住宅に転換を。	【区長】④選択肢の一つとして検討。	
39	②元URの民間空き地の積極的買収を。	【区長】②会が検討する計画案に含まれる。	
40	②ビキニ環礁でのアメリカの水爆実験で「死の灰」を浴びた第五福竜丸被爆事故の惨禍を次世代に語り継ぐ取組みを。	【区長】②区が行っている様々な平和関連事業の中で、例えば平和絵画・原爆展において第五福竜丸被爆事故に関するパネル展示などできないか実行委員会で検討していく。	荒川なお
41	②上板橋駅南口駅前地区の再開発事業は課題が多くまちづくりが進んでいない。現在の再開発計画を白紙にしては。	【区長】②現在の再開発事業は22年度から3カ年かけて見直しをし、その成果として東側の一部地区で関係権利者による「災害に強いまちづくりを進める会」が設置された。現在同会が新たな再開発計画案を検討している。	
42	現在、重度重複の障害児の受入可能施設は加賀児童ホームのみである。区の西部地域に療育施設の設置を強く求める	【区長】区の財政状況などを総合的に勘案しながら今後研究・検討していく。	
43	子どもたちの放課後の居場所としての児童館を統廃合せず、これまでと同様に事業の継続を求める。	【区長】小学生の安心・安全な居場所・遊び場としての役割を担うため、現行の児童館については今後のあり方を検討。新たな児童館では、機能面で子ども・子育て支援新制度の地域子育て支援拠点事業を担い、乳幼児への対応を大幅に拡充していきたい。今後児童館の施設配置には、統廃合も視野に入れている。	かなざき文子

作成:しがき伸也(2014年12月11日)